

# 8月号

# School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



# Dream通信

2011. 08. No.41

## 今年も田植えの季節到来 ～食べ物への感謝～



SAJFarm に到着！



2, 3本ずつ丁寧に植えていきます



一面が緑の田んぼになりました！

皆さんこんにちは。今の季節、カンボジアよりも日本の方が暑いのではないのでしょうか。カンボジアは毎夕大雨が降り、夜間は急に冷え込みます。いつでも暑いイメージのカンボジアですが、子どもたちの間では風邪がはやっています。

さて、今回の Dream 通信では、7月にSAJFarmで行われた田植えの様子と、盈進会病院様来園について、また今回初となるワタミグループ社員ツアーについてお伝えします。

### SAJFarmでの田植え

カンボジアの首都プノンペンから車で1時間半程のコンポンチュナン州に、SAJFarmがあります。

カンボジアの農家では雨季に入り、雨が安定して降るようになると田植えを始めます。そこで7月17日、今年の田植えを子どもたち全員で行いました。SAJFarmスタッフの説明を聞き、各グループに分かれてそれぞれの割り当てられた水田で田植えを行いました。

今年で2回目になりますが、小さい頃に日銭を稼ぐ労働力として働いてきた子どもが多く、子どもたちの苗を植える手つきは手馴れたものです。カンボジアの田植えの方法では数本の苗を一箇所植えます。充分に間隔をあけて植える日本式とは異なります。

あっという間にSAJFarmの水田にどんどんと緑が広がっていききました。子どもたち皆が汗を流して頑張ったたくさんの稲が、緑の絨毯になり、そしてきれいな黄金色の絨毯を経て、大きな穂を付け、たくさんの収穫をできることが、今から楽しみでなりません。そして皆でできたのお米を美味しくいただき、毎日食べているお米がどれだけ大変な仕事をしてできたものなのかを学び、食べ物への感謝を忘れない子どもに育てて欲しいと思います。



具合の悪い子はいないかな？

## 盈進会病院様来園

6月22日、渡邊代表理事が理事長を務める大阪府岸和田市の盈進会病院の医師、看護師の方々がいらっしゃいました。年に一度子どもたち全員の健康診断をボランティアで行ってくれていますが、今回は日本の震災の影響もあり、短い時間での滞在となりました。いつもは子どもたち全員を診察していただけるのですが、今回は、具合の悪い子どもや、骨折した子どもなど、特に気になる子のみ、診察していただきました。その結果、異常もなく、安心しました。



本当の親子のような里親様と里子

交流の時間には、折り紙で兜を作ったり、皆でサッカーやバレーボールなどをしたり、とても楽しそうにはしゃいでいました。中には、7ヶ月振りに里親様と再開した里子があり、二人とも目を輝かせて喜んでいました。里子も日本の震災を心配していたので、実際に元気なお父さんに会えてとても安心したようでした。

## ワタミグループ社員ツアー来園

6月23日、ワタミグループの介護、外食、本部の各部署から総勢34名の社員の方々が「夢追う子どもたちの家」を訪れました。園に到着し、まずは園内をご案内し、子どもたちが普段どのような場所で生活しているのかを肌で感じてもらいました。その後広場に集まり、それぞれの自己紹介が終わった後、子どもたち81人と社員34名でしっぽりゲームをして遊びました。園内中を大人と子どもが走り回り、とても盛り上がりましたが、さすがにたくさん子どもたちには勝てず、3分ほどで子どもたちの圧勝となりました。



ワタミ社員 VS 子どもたち

その後、国旗貢納、カンボジアと日本の国歌を斉唱し、みんなで夕食を食べました。初めて里親と対面した子どももあり、終始喜んでいました。夜暗くなってきても交流を続け、最後は一緒に日本の歌を歌い、お別れしました。

ワタミグループでは、渡邊代表理事がカンボジアへ来るたびに、ビデオで現地の様子を紹介しています。社員の方々は「夢追う子どもたちの家」ができた当初の様子や、子どもたちがまだ小さい頃の様子も、ビデオを見て知っています。ゴミ山で朝から晩までゴミを拾っていた子が、今こんなに大きくきれいになって毎日笑顔で生活しているのを実際に見て、本当に感動したと言いました。園の運営は、里親様、支援者様から頂いた会費でまかなっています。全ての寄付が、1円も無駄にならないように、皆様の強い想いを背負って子どもたちの成長の手助けをしていきます。



夜暗くなるまで一緒に交流しました